

※ 今週のアウトルック (6/15~6/19)

先週は要人発言に大きく揺さぶられる週となりました。

月曜日には、「オバマ大統領はこれ以上のドル高を望んでいない」との情報が流れ、(後に否定されましたが) 週明けの利益確定売りに拍車がかかりました。

また、金曜日に昼過ぎには、黒田日銀総裁の「これ以上円安が進む可能性は少ない」との発言が報道され(こちらも後で否定されました) 一時的にせよ、円買いが進みました。

今週は、先週の要人発言がなければ、もう一段の円安がさらに拍車がかかっていた可能性も否定できないところでしたが、政府の見解として、全般的にこれ以上の円安ドル高を望んでいないとの見方から、しばらくは大きく動きづらい展開となりそうです。

先週ドル円は、利益確定売りが要人発言などで拍車がかかり、週中には122.5円まで円高が進みました。

週末には123円台半ばまで戻していますが、要人発言への警戒感などから、もう一段の円安へは進みづらい状況にあるように思います。

ただ、ギリシャ情勢への警戒から、ユーロ売りが進み、相対的に米ドル、円が買われる状況も顕著になってきました。ユーロドルなどの動きにも十分注意する必要があるようです。

ドル円の予想レンジは121.5円から125円です。

先週ユーロは、ギリシャ情勢に対する楽観的な見方が後退し、リスクヘッジの売りと買い戻しが交錯する状況が続いています。

今週もギリシャ情勢に対する神経質な動きは継続されるように思います。万が一、ギリシャデフォルトを決定づけるような報道がなされた場合には、パニック的な売りも予想できるため、注意が必要です。

ユーロ円の予想レンジは134円から141円です。

ポンド円は、テクニカル的には上昇トレンドを維持していますが、時期的には、そろそろ大きな利益確定売りが入ってもおかしくないかもしれません。

ポンド円の予想レンジは187円から195円です。

今週は、ギリシャ情勢や株価指数の動きを睨みながら、神経質な展開となることも予想されるように思います。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。